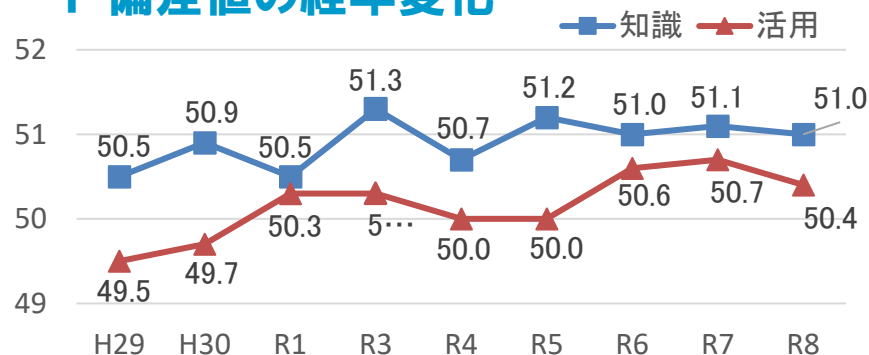


※目標値・・・学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したもの。

結果のポイント

1 偏差値の経年変化



○知識と活用ともに偏差値50を上回っている。

2 観点別の結果

観 点	県正答率	全国正答率	目標値
知識・技能	52.5	50.6	51.4
思考・判断・表現	45.2	44.1	48.3

○全ての観点において、全国正答率を上回っている。

3 領域別の結果

領 域	県正答率	全国正答率	目標値
地理	55.9	54.0	53.7
歴史	44.8	43.2	47.3

○全ての領域において、全国正答率を上回っている。

4 解答形式別の結果

解答形式	県正答率	全国正答率	目標値
選択	47.1	46.2	49.6
短答	65.0	59.8	56.0
記述	51.0	48.6	47.5

○全ての解答形式において、全国正答率を上回っている。

■ つまずきが見られた問題

大問4(1) 県正答率28.4% 全国正答率28.4%

【問題の概要】

中国の農業について、華北・華中地方と華南地方の年降水量の資料と、それらの地方で生産が盛んな農作物生産量の国別割合の資料をもとに考察する問題。

【課題】

複数の資料から読み取った情報と既習の知識を関連付けながら考察すること。

◆ 指導のポイント

社会科における学習過程に留意して、単元構想を行う。

【課題把握(動機付け、方向付け)】

⇒【課題追究(情報収集、考察・構想)】

⇒【課題解決(まとめ)】 ⇒【新たな課題(振り返り)】

○単元の目標や内容を確認し、社会的事象の地理的な見方・考え方が働くような学習課題を設定する。

○評価規準(ゴールの姿)を明確にしておく。

○課題追究の段階における留意点

- ・情報収集の目的を明確にして、課題解決に必要な情報を収集する。
- ・「資料等から読み取った情報」、「その情報から考えられること」を分けて整理する。
- ・複数の情報同士を関連付けたり、それらの情報と既習の知識を関連付けたりしながら考察する。

※学習指導要領解説P186「社会的事象について調べまとめる技能」を参考にする。

○考察した内容を説明したり、文章で記述したりする。

※情報収集、考察・構想、まとめの時間を十分に保障する。

★ 指導の具体例

【課題追究(考察)】 複数の資料から読み取った情報を図に整理し、既習の知識と関連付けて考察し、文章で表現する活動(例)

学習課題「中国の農業の特色は、中国の位置や地形、気候等とどのような関係があるのだろうか。」

資料から読み取った情報

資料1 地図
西部: 標高が高い
東部: 標高が低い

資料2 年降水量
西部: 250mm未満
東部: 250mm~2000mm未満

読み取った情報から考えられること

西部: 標高が高く、降水量が少ない
⇒ 農作物の栽培には不向き

東部: 標高が低く、降水量が多い
⇒ 農作物の栽培が盛ん(可能)

資料1 地図
華北: 海に面している地域が小さい。
華南: 海に面している地域が大きい。
東北と華南では緯度が20度程度異なる。

資料2 年降水量
華北: 1000mm未満
(東北: 1000mm未満)
華南: 1000mm以上

華北: 降水量が多くなく、気温も低い ⇒ 稲作には不向き

華南: 降水量が多く、温暖
⇒ 稲作が盛ん

既習の知識

・大陸の東側に位置する地域は季節風の影響を受けやすい。
⇒ 夏に気温が高く、降水量が多い。
⇒ 東アジアや東南アジアでは稲作が盛ん。
・高緯度ほど気温が低くなる。

まとめ(文章化)

中国はその地形や気候に合った農作物を栽培している。中国西部は標高が高く、年降水量が250mm未満と少ないため、農作物の栽培には不向きであり、主に牧畜を行っている。東部の華北は年降水量が250mmから1000mm未満であり気温も低いため、稲作は不向きであり、主に小麦の栽培を行っている。華南は季節風の影響を受け、年降水量が多く温暖なため、稲作や茶の栽培が盛んである。